

# Best Available Copy

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-163524

(43)Date of publication of application : 21.06.1996

(51)Int.Cl.

H04N 7/15  
G06F 15/00  
H04M 3/56

(21)Application number : 06-297628

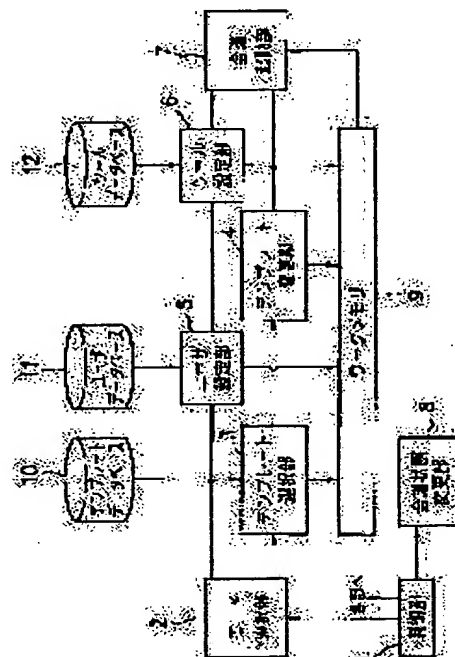
(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 30.11.1994

(72)Inventor : TANAKA KENICHIRO  
SATO HIROAKI**(54) TERMINAL EQUIPMENT FOR ELECTRONIC CONFERENCE SYSTEM****(57)Abstract:**

**PURPOSE:** To relieve the burden of setting required items when an electronic conference is started.

**CONSTITUTION:** The system is provided with a template database 10 having various templates in which management information required to start an electronic conference is set and a template selection section 3 selecting an optional template among the various templates in the template database 10. Thus, an electronic conference is started according to the management information set in advance in the template selected by the template selection section 3 to start the electronic conference by having only to select a desired template. Furthermore, a mode selection section 2, a user setting section 5 and a tool setting section 6 are further provided in the system so as to select whether a formal electronic conference is to be started or an informal electronic conference is to be held and even when an informal electronic conference is selected, the electronic conference is started by having only to set participants of the conference and a tool used for the conference.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

28.12.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY  
BEST AVAILABLE COPY

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-163524

(43)公開日 平成8年(1996)6月21日

(51)Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 7/15				
G 0 6 F 15/00	3 1 0 A	9364-5L		
H 0 4 M 3/56	Z			

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 12 頁)

(21)出願番号 特願平6-297628

(22)出願日 平成6年(1994)11月30日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 田中 賢一郎

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

(72)発明者 佐藤 宏明

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

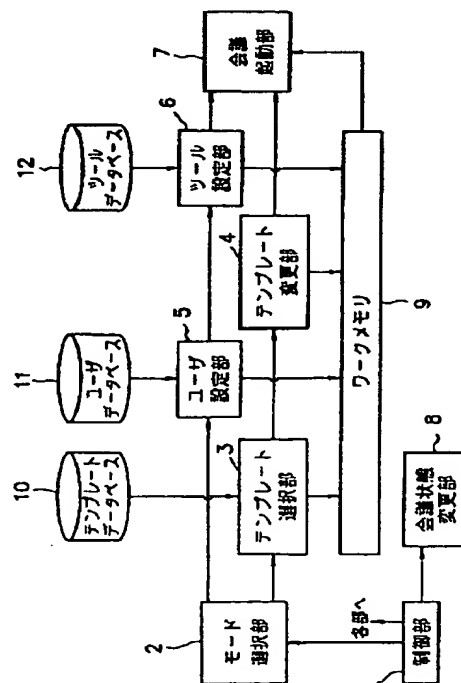
(74)代理人 弁理士 國分 孝悦

(54)【発明の名称】 電子会議システムの端末装置

(57)【要約】

【目的】 電子会議を開始する際に必要な項目を設定する手間を軽減できるようにする。

【構成】 電子会議の開始に必要な管理情報が予め設定された種々のテンプレートを有するテンプレートデータベース10と、このテンプレートデータベース10中の種々のテンプレートの中から任意のテンプレートを選択するテンプレート選択部3とを設け、テンプレート選択部3により選択したテンプレートに予め設定されている管理情報に従って電子会議を開始するようにすることにより、所望のテンプレートを選択するだけで会議を開始できるようにする。また、モード選択部2とユーザ設定部5とツール設定部6とを更に設けることにより、会議の性質に応じて公式会議を開始するか非公式会議を開始するかを選択できるようにするとともに、非公式会議を選択した場合でも、会議への参加者と会議で使用するツールとを設定するだけで会議を開始できるようにする。



**【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 所定の管理情報に従って電子会議を開始させる電子会議システムの端末装置であって、上記電子会議の開始に必要な上記所定の管理情報が前もって設定された種々の会議テンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、上記テンプレート記憶手段に記憶されている種々の会議テンプレートの中から任意の会議テンプレートを選択するテンプレート選択手段とを設けたことを特徴とする電子会議システムの端末装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の端末装置であって、上記会議テンプレートは、少なくとも公式会議用のものと非公式会議用のものとを含むことを特徴とする電子会議システムの端末装置。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の端末装置であって、上記公式会議用の会議テンプレートは、上記非公式会議用の会議テンプレートよりも上記所定の管理情報が多く設定されていることを特徴とする電子会議システムの端末装置。

【請求項 4】 請求項 2 または 3 に記載の端末装置であって、上記公式会議用の会議テンプレートは、上記電子会議の名称、参加者、会議で使用するツール、議題、議長およびアクセスモードで構成されることを特徴とする電子会議システムの端末装置。

【請求項 5】 請求項 1 に記載の端末装置であって、上記電子会議の参加者を設定する参加者設定手段と、上記電子会議で使用するツールを設定するツール設定手段と、上記テンプレート選択手段を用いて上記所定の管理情報を設定する公式会議モードと上記参加者設定手段およびツール設定手段を用いて上記所定の管理情報を設定する非公式会議モードとの何れかを選択するモード選択手段とを更に設けたことを特徴とする電子会議システムの端末装置。

【請求項 6】 請求項 1～5 の何れか 1 項に記載の端末装置であって、上記テンプレート選択手段により選択された会議テンプレートの内容を変更するテンプレート変更手段を設けたことを特徴とする電子会議システムの端末装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、ネットワーク上の遠隔地に存在する複数の端末間で電子会議を開始する際に使用する電子会議システムの端末装置に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】 従来の電子会議システムにおいては、電子会議を開始する際には、その開始を意図する者が、電子会議を開始するために必要な情報を設定することによ

って電子会議を開始していた。ここで、電子会議の開始に必要な情報は、会議への参加者、会議で使用するツール、議題、議長、アクセスモード（第三者の会議への途中参加を認めるか否かを示すモード）など様々であった。

【0003】 また、従来の電子会議システムでは、電子会議の開始後に、会議への参加者や会議で使用するツールを追加したり削除したりすることにより、電子会議を発展させていくような形態のものが多く見られた。電子会議への参加者を一人ずつ指定する代わりに、何人かの参加者をまとめたグループを指定することにより、参加者を一人ずつ指定する手間を省けるようにしたシステムもあった。

**【0004】**

【発明が解決しようとする課題】 今後、遠隔地に存在する複数の端末間で電子会議を行う機会が増加することは明らかである。この電子会議を大きく 2 つに分類すると、例えば定例会議のように、参加者と使用するツールとが毎回変わらない「公式会議」と、任意の参加者が気軽に開催するその場限りの「非公式会議」との 2 通りの会議が存在すると考えられる。

【0005】 しかしながら、従来の電子会議システムでは、どのような電子会議を開始する場合でも、電子会議を開始する際に必要な情報を設定するためのユーザインタフェースは固定された 1 つのユーザインタフェースしか提供されていなかった。

【0006】 このため、毎回同じ参加者が同じツールを使って行う「公式会議」を開始する場合でも、毎回同じ項目を設定しなければならないため、会議を開始するのに非常に手間がかかるという問題があった。また、「非公式会議」を開始する場合には、議題や議長やアクセスモードなどの設定は本来不必要であることが多いが、そのような必要でない項目まで設定しなければならないため、やはり会議を開始するのに非常に手間がかかるという問題があった。

【0007】 今後、電子会議は多様化の一途を辿り、電子会議を開始する際に設定する項目数も増加すると考えられる。そのような場合に、電子会議を開始する度に、会議開始時に必要な項目を全て指定しなければならないとすると、非常に煩雑な作業を強いられることとなり、無視できないものになることが予想される。

【0008】 本発明は、このような問題を解決するために成されたものであり、電子会議を開始する際に必要な項目を設定する手間を軽減できるようにすることを目的とする。

**【0009】**

【課題を解決するための手段】 本発明の端末装置は、所定の管理情報に従って電子会議を開始させる電子会議システムの端末装置であって、上記電子会議の開始に必要な上記所定の管理情報が前もって設定された種々の会議

テンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、上記テンプレート記憶手段に記憶されている種々の会議テンプレートの中から任意の会議テンプレートを選択するテンプレート選択手段とを設けたものである。

【0010】また、上記会議テンプレートが、少なくとも公式会議用のものと非公式会議用のものを含むことを特徴とするものである。

【0011】また、上記公式会議用の会議テンプレートが、上記非公式会議用の会議テンプレートよりも上記所定の管理情報が多く設定されていることを特徴とするものである。

【0012】また、上記公式会議用の会議テンプレートが、上記電子会議の名称、参加者、会議で使用するツール、議題、議長およびアクセスモードで構成されていることを特徴とするものである。

【0013】また、上記電子会議の参加者を設定する参加者設定手段と、上記電子会議で使用するツールを設定するツール設定手段と、上記テンプレート選択手段を用いて上記所定の管理情報を設定する公式会議モードと上記参加者設定手段およびツール設定手段を用いて上記所定の管理情報を設定する非公式会議モードとの何れかを選択するモード選択手段とを更に設けたものである。

【0014】また、上記テンプレート選択手段により選択された会議テンプレートの内容を変更するテンプレート変更手段を設けたものである。

【0015】

【作用】本発明は上記技術手段より成るので、テンプレート記憶手段に記憶されている種々の会議テンプレートの中からテンプレート選択手段により選択された会議テンプレートに予め設定されている管理情報に従って電子会議が開始されるようになる。上記会議テンプレートに公式会議用のものと非公式会議用のものとが含まれている場合には、開始しようとする会議が公式会議であるか非公式会議であるかを問わず、テンプレート選択手段により選択された会議テンプレートに予め設定されている管理情報に従って電子会議が開始されるようになる。

【0016】また、参加者設定手段とツール設定手段とモード選択手段を更に設けた場合には、開始しようとする電子会議の性質に応じて公式会議モードと非公式会議モードとの何れかがモード選択手段により選択され、公式会議モードが選択された場合には、テンプレート選択手段により選択された会議テンプレートに予め設定されている管理情報に従って電子会議が開始され、非公式会議モードが選択された場合には、参加者設定手段およびツール設定手段により設定された参加者およびツールの情報に従って電子会議が開始されるようになる。

【0017】また、テンプレート変更手段を設けた場合には、テンプレート選択手段により選択された会議テンプレートの内容が、電子会議を開始する前に必要に応じて変更されるようになる。

【0018】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。図1は、本実施例による電子会議システムの端末装置の構成要素を示す機能ブロック図である。

【0019】図1において、1は制御部であり、図1に示した後述の各構成要素を制御するものである。制御部1は、ユーザから何らかの情報が入力されるのを常に待機し、その入力に応じて適切な処理を行う。電子会議を開始する際には、ユーザから「電子会議を開始する」旨の合図を待つ何らかの手段が常に動いている必要があるが、本実施例では制御部1がこの手段を担当する。

【0020】2はモード選択部であり、電子会議を開始する際に公式会議を開始するか非公式会議を開始するかを選択するものである。このモード選択部2は、電子会議の開始を意図するユーザに、開始したい会議が公式会議なのか非公式会議なのかを選ばせるための手段として機能する。そして、モード選択部2は、ユーザの指定に応じて、後述するテンプレート選択部3、あるいはユーザ設定部5およびツール設定部6を選択的に起動することで、会議の開始に必要な管理情報の設定をユーザが混乱なく行えるように動作する。

【0021】上述のテンプレート選択部3は、公式会議を開始する際に、テンプレートデータベース10中の様々な会議テンプレートの中から所望の会議テンプレートを選択するものである。このテンプレート選択部3は、公式会議の開始を意図するユーザに、テンプレートデータベース10中のテンプレートリストの中から希望するテンプレートを選ばせるための手段として機能する。つまり、公式会議の開始時に任意のテンプレートを選択することで、ユーザが全ての項目を指定しなければならないという手間を省くことを可能にするものである。

【0022】4はテンプレート変更部であり、ユーザがテンプレート選択部3によって選択したテンプレートの内容に変更を加えるものである。すなわち、ユーザがテンプレート選択部3を使って選択したテンプレートの中の項目（会議の参加者、会議で使用するツール、議題、議長など）を変更する場合に、このテンプレート変更部4が使用されることになる。

【0023】上述のユーザ設定部5は、非公式会議を開始する際に、会議への参加者を設定するものである。また、ツール設定部6は、非公式会議を開始する際に、会議で使用するツールを設定するものである。これらのユーザ設定部5およびツール設定部6は、公式会議ではなく、非公式会議の開始を意図するユーザに、その電子会議への参加者と電子会議で使用するツールとを選ばせるための手段として機能する。

【0024】「気軽に電子会議を行いたい」という要求を満たすためには、電子会議への参加者と電子会議で使用するツールとを指定すれば十分であり、数多くの設定（議題、議長、アクセスモードなど）を指定することは

不必要であることが多い。つまり、このユーザ設定部5およびツール設定部6は、そのような非公式会議をできるだけ簡単に開始したいという要求に答えるために導入されたものである。

【0025】7は会議起動部であり、以上に述べたテンプレート選択部3およびテンプレート変更部4、あるいはユーザ設定部5およびツール設定部6により設定された管理情報に従って、実際に電子会議を動作させるものである。8は会議状態変更部であり、現在実行中の電子会議の状態を変更するものである。例えば、この会議状態変更部8を起動することにより、現在実行中の会議を終了させたり、現在実行中の会議から途中で抜けたり、現在実行中の会議に途中参加したりすることが可能である。

【0026】9はワークメモリであり、電子会議の開始に必要な情報（上述のように設定された管理情報）を格納するものである。10は様々な会議テンプレートを有するテンプレートデータベース、11は参加者に関する様々な情報を有するユーザデータベース、12は電子会議で使用するツールに関する様々な情報を有するツールデータベースである。

【0027】図2は、本実施例による端末装置のハードウェア構成を示す図である。なお、図1に示した各構成要素は、この図2の各要素上においてソフトウェアにより実現される。

【0028】本端末装置は、CPU21およびメモリ25上で動作し、種々の情報の出力は、CRTやLCDなどのディスプレイ22に行われる。これにより、電子会議の開始に必要な情報を設定するためのユーザインタフェースや会議テンプレートの内容などがこのディスプレイ22に表示される。このユーザインタフェースに基づく会議開始のための種々の情報の設定は、マウスなどのポインティングデバイス23やキーボード24を用いて行われる。

【0029】また、図1に示したテンプレートデータベース10、ユーザデータベース11およびツールデータベース12の各データは、ディスク26内に格納されているが、電子会議システムを構成するネットワーク上の遠隔地にある他のディスク上に格納しておき、それをネットワークインタフェース（ネットワークI/O）27を介してアクセスするような形態で実現することも可能である。

【0030】図3は、テンプレート選択部3で選択される会議テンプレートの内容の一例を示す図である。図3において、31はテンプレートの名前、32はテンプレートを一意に識別するための識別子、33は会議の参加者を示すメンバーリスト、34は電子会議に使用されるツールを示すツールリスト、35は電子会議の議題、36は電子会議の議長、37は電子会議のアクセスモード（第三者の会議への途中参加を許すか許さないかを示す

モード）を示す。

【0031】このようなテンプレートは、例えば定例会議のように参加者や会議で使用するツールが毎回固定の公式会議を開始する場合に、会議開始の際に全ての項目を設定する手間を省くために用いられるものであり、上述したように、ディスク26内にテンプレートデータベース10として格納されている。上述したテンプレート選択部3およびテンプレート変更部4は、このようなテンプレート中の各種情報を参照することにより、ユーザが管理情報の設定を簡便に行えるように動作する。

【0032】以下、図4～図7を用いて、図1および図2に示した本実施例による電子会議システムの端末装置の動作手順を説明する。まず、制御部1の動作を図4のフローチャートを用いて説明する。

【0033】上述のように、制御部1は、ユーザからの情報入力を常に待機し、何らかの情報入力を検知した場合にそれに応じた適切な処理を行うものである。すなわち、まず最初に、制御部1が起動されると、それに伴いステップS1で初期化手続きが行われ、図8に例示するようなユーザインタフェースがユーザに提示される。

【0034】図8において、41～46は電子会議の状態を変更するための操作ボタンであり、ユーザは、ポインティングデバイス23やキーボード24を用いてこれらの操作ボタン41～46を操作することにより、電子会議の開始、終了、途中参加などの種々の指示を行う。すなわち、Formalボタン41およびInformalボタン42は、会議の開始を指示するためのボタンであり、これらのうち、Formalボタン41は公式会議の開始を、Informalボタン42は非公式会議の開始を指示するためのボタンである。

【0035】また、Closeボタン43、Dropボタン44およびJoinボタン45は、現在実行中の電子会議の状態変更を指示するためのボタンであり、これらのうち、Closeボタン43は電子会議の終了を、Dropボタン44は電子会議からの途中退出を、Joinボタン45は電子会議への途中参加を指示するためのボタンである。Exitボタン46は、本システムを停止させるためのボタンである。また、47は現在行われている電子会議の一覧を表示する会議一覧表示領域である。

【0036】次に、制御部1は、図4のステップS2で、ユーザからの情報入力があったかどうかを判断する。ここで、ユーザからの入力（操作ボタン41～46の何れかの押下）を検知した場合は、ステップS3で、そのユーザからの入力による要求が電子会議開始要求かどうか（Formalボタン41またはInformalボタン42が押下されたかどうか）を判断する。もし、ユーザからの要求が電子会議開始要求であれば、ステップS6に進み、モード選択部2を起動する。

【0037】一方、ユーザからの要求が電子会議開始要求でない場合は、ステップS4で、その要求が電子会議

の状態を変更する要求かどうか（Closeボタン43、Dropボタン44またはJoinボタン45が押下されたかどうか）を判断する。もし、ユーザからの要求が電子会議の状態を変更する要求であれば、ステップS7に進み、会議状態変更部8を起動する。

【0038】会議状態変更部8は、Closeボタン43が押下された場合には、会議一覧表示領域47に表示されている電子会議の中からユーザが指定した電子会議を終了させる。また、会議状態変更部8は、Dropボタン44が押下された場合には、同様にしてユーザが指定した電子会議から途中退出するようにする。また、会議状態変更部8は、Joinボタン45が押下された場合には、同様にしてユーザが指定した電子会議に途中参加するようにする。

【0039】さらに、ユーザからの要求が電子会議開始要求でもなく、電子会議の状態を変更する要求でもない場合には、ステップS5で、その要求がシステムの終了要求かどうか（Exitボタン46が押下されたかどうか）を判断する。もし、ユーザからの要求がシステムの終了要求であれば、制御部1は、ステップS8でシステムを終了させる。ユーザからの要求が上述の何れの要求にも当てはまらない場合には、制御部1は、そのユーザからの入力を無効とみなし、ステップS2の情報入力待ちの状態に戻る。

【0040】図5は、上述のステップS6で起動されるモード選択部2の動作を示すフローチャートである。以下、モード選択部2の動作をこの図5のフローチャートを用いて説明する。図5において、モード選択部2は、まずステップS9で、ユーザからの電子会議開始要求が、公式会議の開始要求なのか非公式会議の開始要求なのかを判断する。

【0041】ここで、ユーザからの要求が公式会議の開始要求である場合（Formalボタン41が押下された場合）は、ステップS10に進み、テンプレート選択部3を起動する。また、ユーザからの要求が非公式会議の開始要求である場合（Informalボタン42が押下された場合）は、ステップS11でユーザ設定部5とツール設定部6とを起動する。

【0042】公式会議の開始要求に対応するステップS10の処理、および非公式会議の開始要求に対応するステップS11の処理のそれぞれの場合に行われる処理の内容は、ステップS12で会議起動部7を動作させるのに必要となる情報（セッション名、ユーザリスト、ツールリスト、議題、議長、アクセスモードなど）を、図1のワークメモリ9に格納することである。

【0043】そして、ステップS10もしくはステップS11の処理が終わると、ステップS12で会議起動部7が起動される。会議起動部7は、電子会議の開始時に必要な情報をワークメモリ9から読み出し、その読み出した情報（議題、議長、会議で使用するツールのリス

ト、参加者のリストなど）を電子会議の参加者全員に与えるとともに、電子会議の参加者全員に電子会議を開始するように要求する。このような手順を経ることにより公式会議あるいは非公式会議の電子会議が開始される。

【0044】なお、以上に述べた例では、公式会議を開始するときに所望のテンプレートを選択するようになっているが、非公式会議を開始するときでもテンプレートを選択するようにしてもよい。この場合、非公式会議を開始する際に必要な管理情報は、公式会議を開始する際に必要な管理情報を比べて少ない（会議参加者や会議で使用するツールのみ）ので、非公式会議を開始する際に用いるテンプレートは簡単なものでよい。

【0045】図6は、上述のステップS10で起動されるテンプレート選択部3の動作を示すフローチャートである。以下、テンプレート選択部3の動作をこの図6のフローチャートを用いて説明する。上述したように、テンプレート選択部3は、ユーザがテンプレートデータベース10に格納されているテンプレートリストの中から希望するテンプレートを選択する手段を提供するものである。

【0046】図6において、テンプレート選択部3は、まずステップS13の初期化手続きにより、図9に例示するようなユーザインタフェースをユーザに提示する。図9中の51はテンプレートリストを表示するテンプレート一覧表示領域である。ユーザは、このテンプレート一覧表示領域51に表示されたテンプレートリスト上で例えばマウスクリック操作をすることにより、所望のテンプレートを選択することができるようになっている。

【0047】また、52は上述のようにしてユーザが選択したテンプレートの名前を表示する領域、53はテンプレートの情報（議題、議長、アクセスモード、会議で使用するツールなど）を表示する領域、54は電子会議の参加者を表示する領域である。55はユーザがこのユーザインタフェース上の設定で電子会議を開始する際に押下するOKボタン、56はユーザが電子会議の開始指示を取り消す際に押下するCancelボタンである。

【0048】次に、テンプレート選択部3は、ステップS14で、テンプレートデータベース10からテンプレートデータを取り出し、テンプレートデータの一覧を上記テンプレート一覧表示領域51に表示する。そして、ステップS15でユーザからの入力を待つ。このステップS15でユーザからの入力を検知すると、ステップS16に進み、そのユーザからの入力がテンプレート一覧表示領域51上において所望のテンプレートを選択したものであるかどうかを判断する。

【0049】もし、ユーザからの入力がテンプレートを選択するものであれば、ステップS18に進み、ユーザが選択したテンプレートの名前を上述の選択テンプレート名表示領域52に表示するとともに、議題、議長、アクセスモード、ツール、参加者などの情報をテンプレ

ト情報表示領域53と参加者表示領域54とに表示する。一方、ユーザからの入力がテンプレートを選択するものでなければ、ステップS17に進み、その入力がCancelボタン56の押下であるかどうかを判断する。もし、ユーザからの入力Cancelボタン56の押下であれば、図4に示したステップS2の制御部1の入力待ち状態へ戻る。

【0050】上述のステップS18でテンプレート情報を詳細に表示した後は、ステップS19で、テンプレート情報表示領域53や参加者表示領域54の各項目に対してユーザからの入力があるかどうかを判断する。そして、テンプレート情報表示領域53や参加者表示領域54の何れかの項目に対してユーザからの入力があった場合（例えば、議題や議長を変更するときなど）は、ステップS20でテンプレート変更部4を起動する。

【0051】このテンプレート変更部4は、図示しないテキスト情報入力部とテンプレートデータ更新部とにより構成されている。そして、テンプレートデータ更新部は、テンプレートデータベース10から取り出されたテンプレートデータの内容を、テキスト情報入力部によりテンプレート情報表示領域53や参加者表示領域54内の各項目に入力された内容に変更する。このように、本実施例では、テンプレート選択部3により選択された会議テンプレートの内容である会議の構成メンバや使用ツールを追加したり削除したりして、会議の起動に必要な情報を必要に応じて修正することができる。

【0052】次に、ユーザが変更しようとする全ての項目に対して修正およびその確認を終えた後に、ステップS21でOKボタン55が押下されたことを検知すると、ステップS22で電子会議開始時に必要な情報（図9のユーザインタフェース上で設定された各項目の情報）をワークメモリ9に書き込み、テンプレート選択部3の処理を終了する。

【0053】なお、公式会議を行う場合には、テンプレート情報表示領域53や参加者表示領域54内の情報は変更する必要がないことが多いので、そのような場合には、ステップS20でテンプレートデータを変更することなく、そのままOKボタン55を押下すればよい。この場合には、所望のテンプレートを選択するだけで公式会議を開始することができ、会議開始のために必要な操作を簡略化することができる。

【0054】次に、図5のステップS11で起動されるユーザ設定部5およびツール設定部6の動作を図7のフローチャートを用いて説明する。図7において、ユーザ設定部5およびツール設定部6は、まずステップS23の初期化手続きにより、図10に例示するようなユーザインタフェースをユーザに提示する。

【0055】図10中の61は電子会議に参加可能な人のリストを表示する領域、62は電子会議で使用可能なツールのリストを表示する領域である。ユーザは、これ

らの表示領域61、62に表示された参加者やツールのリスト上で例えばマウスクリック操作をすることにより、所望の参加者やツールを選択することができるようになっている。また、63はユーザがこのユーザインタフェース上の設定で電子会議を開始する際に押下するOKボタン、64はユーザが電子会議の開始指示を取り消す際に押下するCancelボタンである。

【0056】次に、ステップS24で、ユーザ設定部5は、電子会議に参加可能な人の名前をユーザデータベース11から取り出し、それを図10に示したユーザインタフェースの参加者リスト表示領域61に表示する。また、ツール設定部6は、電子会議で使用可能なツールをツールデータベース12から取り出し、それを図10に示したユーザインタフェースのツールリスト表示領域62に表示する。

【0057】そして、次のステップS25でユーザからの入力を待ち、このステップS25でユーザからの入力を検知すると、ステップS26に進み、そのユーザからの入力が参加者リスト表示領域61およびツールリスト表示領域62上において所望の参加者およびツールを選択したものであるかどうかを判断する。

【0058】もし、ユーザからの入力が会議への参加者および会議での使用ツールを選択するものであれば、ステップS28に進み、その選択した参加者および使用ツールの情報をワークメモリ9に書き込む。一方、ユーザからの入力が参加者および使用ツールを選択するものでなければ、ステップS27に進み、その入力がCancelボタン64の押下であるかどうかを判断する。もし、ユーザからの入力がCancelボタン64の押下であれば、図4に示したステップS2の制御部1の入力待ち状態へ戻る。

【0059】上述のステップS28で電子会議の開始に必要な最低限の情報をワークメモリ9に書き込んだ後は、ステップS29でOKボタン63が押下されたことを検知してユーザ設定部5およびツール設定部6の処理を終了する。そして、図5のステップS12に進んで会議起動部7を起動する。

【0060】このように、非公式会議を開始する際には、会議への参加者と会議で使用するツールを指定するだけで電子会議を開始することができ、その他の議題、議長、アクセスモードなどの情報は設定する必要がない。したがって、会議を開始するための手間を軽減することができる。

【0061】以上説明したように、本実施例によれば、会議の開始を意図する者は、開始しようとする会議の性質に応じて、公式会議を開始するか非公式会議を開始するかを選択することができる。そして、公式会議の開始を選択した場合には、会議のテンプレートを指定するだけで会議を開始することができ、また、非公式会議の開始を選択した場合には、会議への参加者と会議で使用する



るツールとを指定するだけで会議を開始することができる。

【0062】また、電子会議において使用するツールに関する情報の設定を可能としたことにより、電子会議の種類（報告会、定例会議、ブレインストーミング、講演会など）に応じて、適切なツールが設定されたテンプレートを選択することができる。また、テンプレートに議長の情報を持たせることにより、会議参加者の中で特別な役割を果たすべきユーザの情報を個々のツールで利用することができる。

#### 【0063】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、電子会議の開始に必要な管理情報が前もって設定された会議テンプレートを使用して電子会議を開始することができるようにしたので、上記管理情報を簡便に設定することができ、会議を開始する際のユーザの手間を軽減することができる。また、種々の会議テンプレートを用意しているので、開始しようとする電子会議に応じて適切な会議テンプレートを使用することができ、様々な電子会議に対応することができる。

【0064】また、参加者設定手段とツール設定手段とモード選択手段とを更に設けたので、電子会議の開始を意図する者は、開始しようとする会議の性質に応じて公式会議を開始するか非公式会議を開始するかを選択することができ、公式会議の開始を選択した場合は、所望の会議テンプレートを選択するだけで電子会議を開始することができ、非公式会議の開始を選択した場合は、会議への参加者と会議で使用するツールとを設定するだけで電子会議を開始することができる。したがって、会議を開始する際のユーザの手間を軽減することができる。

【0065】また、会議テンプレートの内容を変更するテンプレート変更手段を設けたので、上記会議テンプレートの内容を電子会議の開始前に修正することができ、どのような公式会議を開始する場合でも、その公式会議に合った会議テンプレートを作成して使用することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本実施例による電子会議システムの端末装置の構成要素を示す機能ブロック図である。

【図2】本実施例による端末装置のハードウェア構成を示す図である。

【図3】テンプレート選択部で選択されるテンプレートの内容例を示す図である。

【図4】制御部の動作を示すフローチャートである。

【図5】モード選択部の動作を示すフローチャートである。

【図6】テンプレート選択部の動作を示すフローチャートである。

【図7】ユーザ設定部およびツール設定部の動作を示すフローチャートである。

【図8】制御部の起動に伴いユーザに提示されるユーザインタフェースの例を示す図である。

【図9】テンプレート選択部の起動に伴いユーザに提示されるユーザインタフェースの例を示す図である。

【図10】ユーザ設定部およびツール設定部の起動に伴いユーザに提示されるユーザインタフェースの例を示す図である。

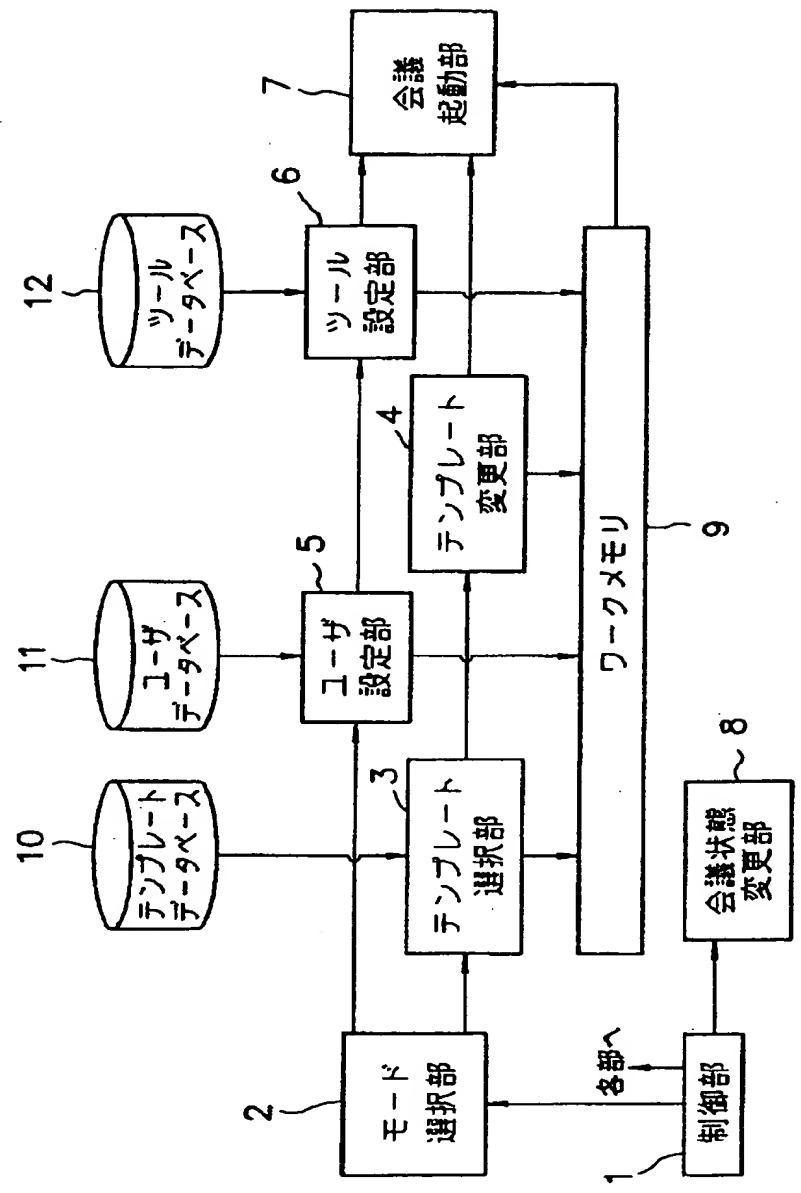
#### 【符号の説明】

- 1 制御部
- 2 モード選択部
- 3 テンプレート選択部
- 4 テンプレート変更部
- 5 ユーザ設定部
- 6 ツール設定部
- 7 会議起動部
- 8 会議状態変更部
- 9 ワークメモリ
- 10 テンプレートデータベース
- 11 ユーザデータベース
- 12 ツールデータベース
- 21 CPU
- 22 ディスプレイ
- 23 ポインティングデバイス
- 24 キーボード
- 25 メモリ
- 26 ディスク
- 27 ネットワーク I/O

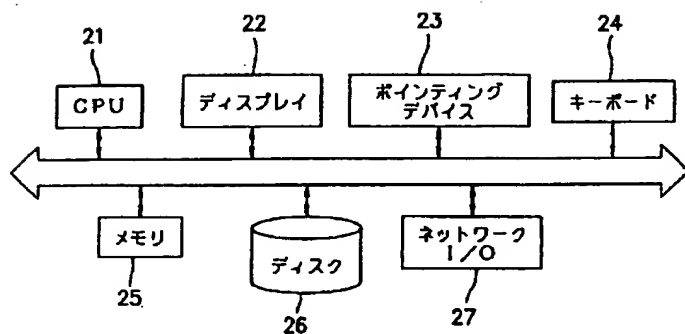
#### 【図3】

```
template {
  session_name = Group-Meeting;          -31
  session_id   = 0124;                    -32
  user_list    = Tanaka, Sato, Takagi;    -33
  tool_list    = Shared-Window, TV-phone; -34
  subject      = Next Presentation       -35
  chairman     = Sato;                    -36
  access_mode  = Private;                 -37
};
```

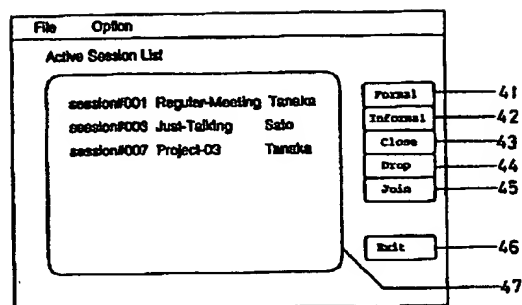
【図1】



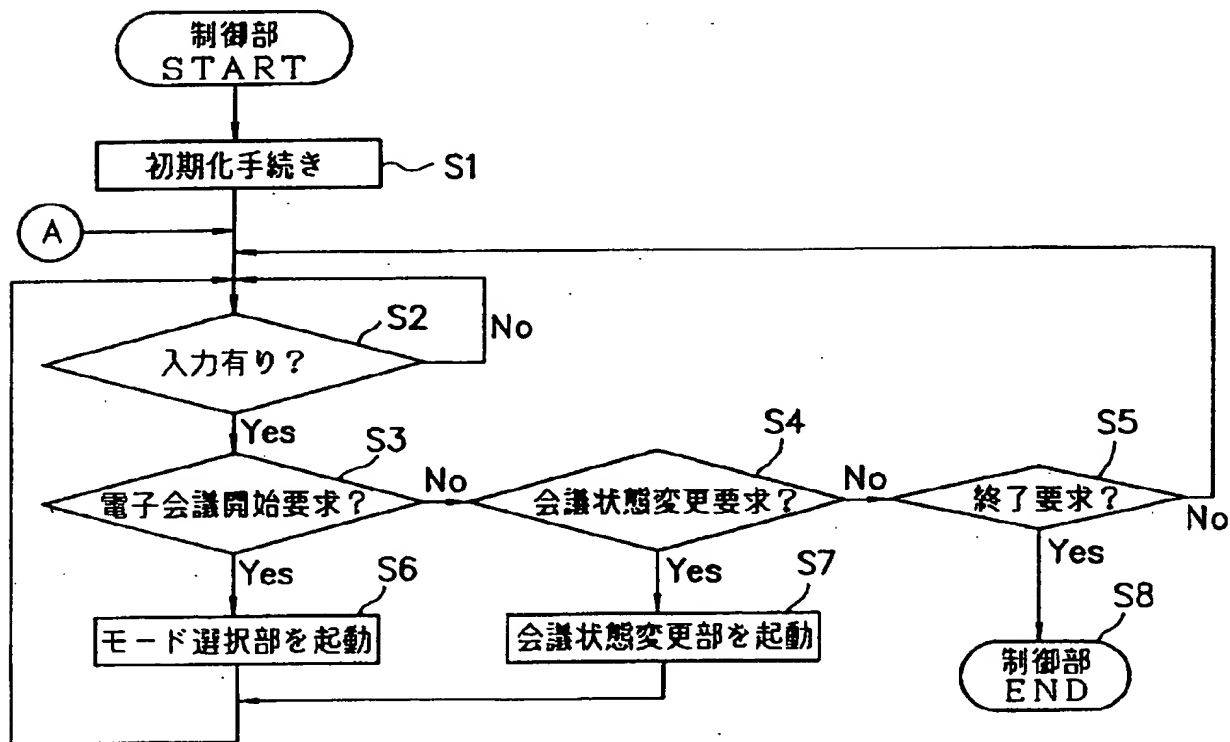
【図 2】



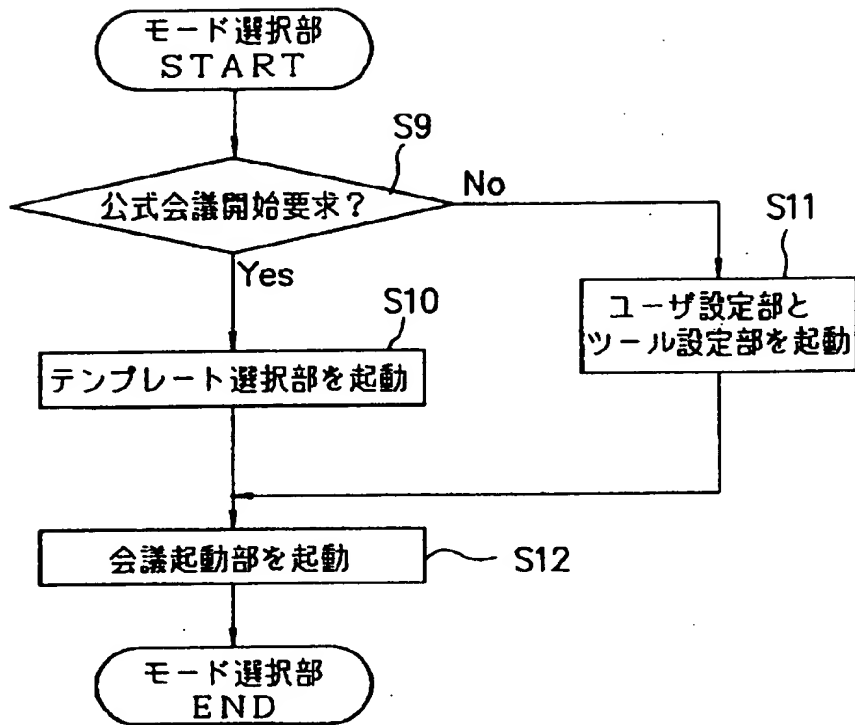
【図 8】



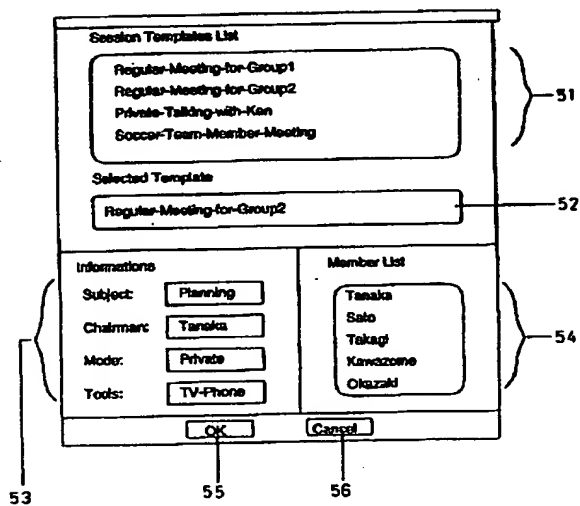
【図 4】



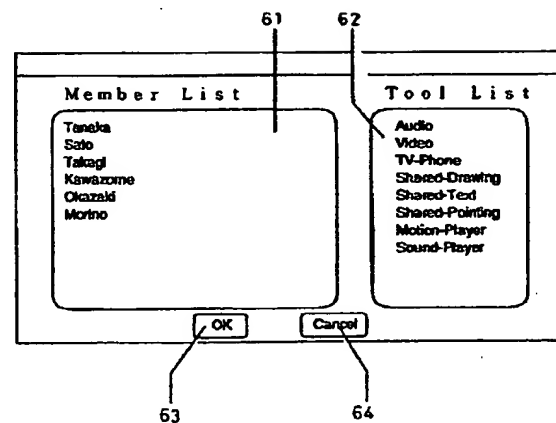
【図 5】



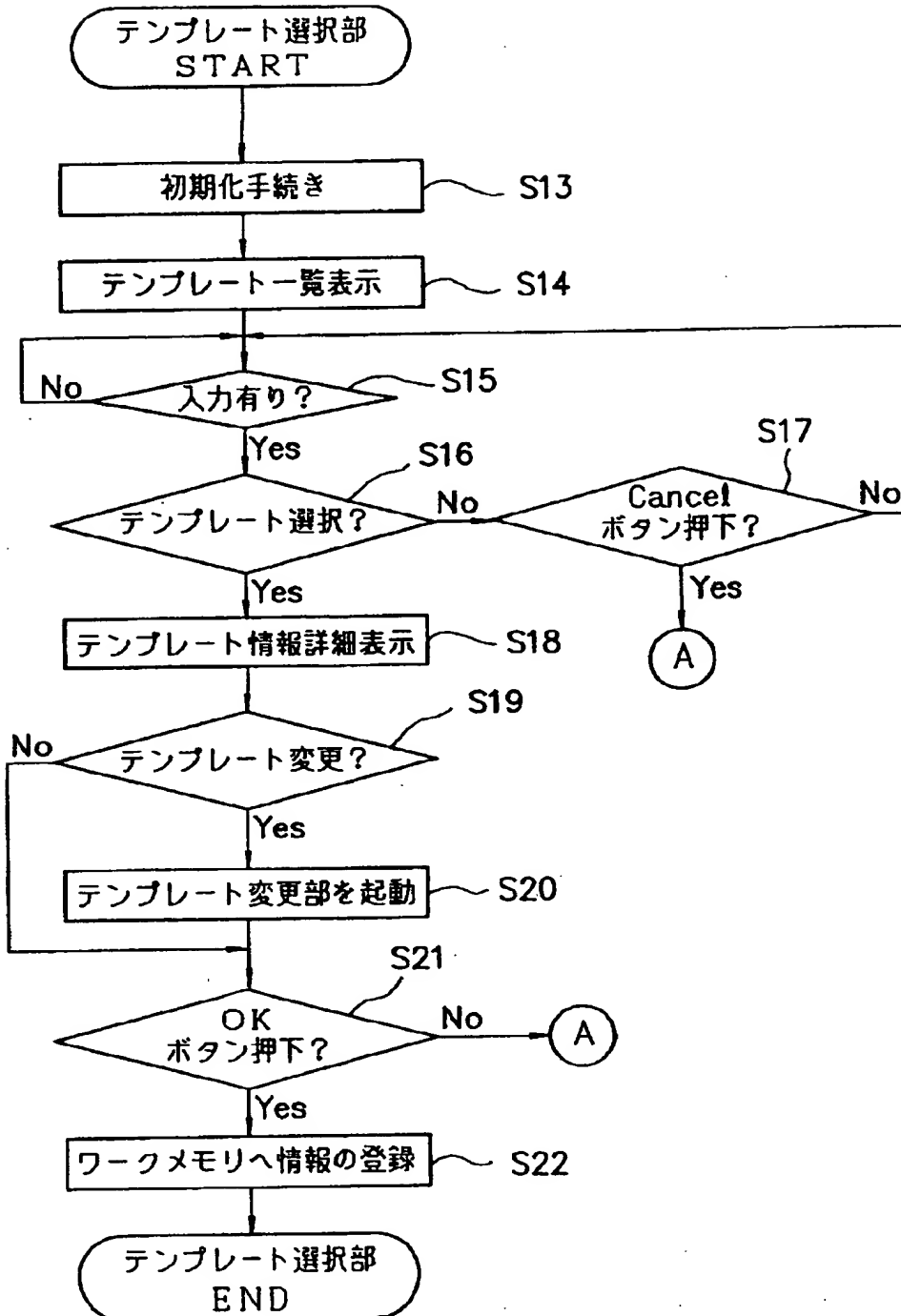
【図 9】



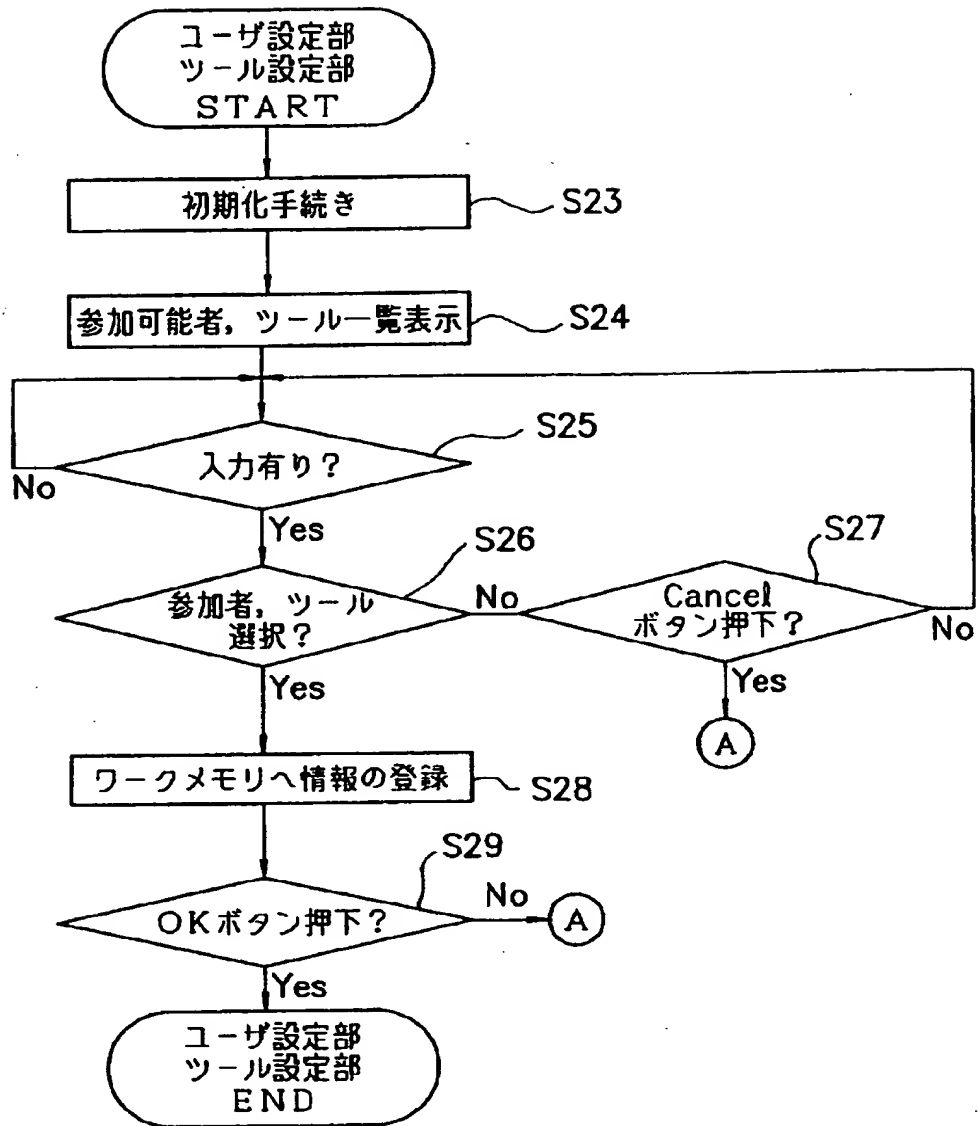
【図 10】



【図6】



【図 7】



[0038] When the Close button 43 is pressed, the conference state update section 8 closes the electronic conference specified by a user among electronic conferences displayed in the conference list display area 47. When the Drop button 44 is pressed, the conference status update section 8 arranges such that the user can leave his/her specified electronic conference halfway in the same manner. When Join button 45 is pressed, the conference status updated section 8 arranges such that the user can join his/her specified electronic conference halfway in the same manner.

[0040] Fig. 5 is a flowchart illustrating an operation by the mode select section 2 initiated in step S6 above. The operation by the mode select section 2 will be described below with reference to the flowchart in Fig. 5. In Fig. 5, first of all, the mode select section 2 determines whether an electronic conference start request from the user is a start request for a formal conference or informal conference in step S9.

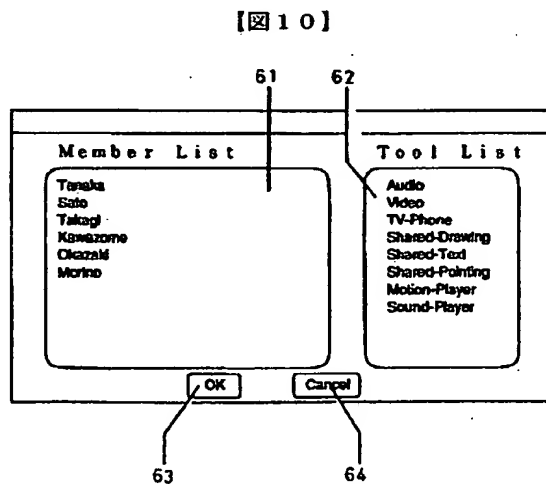
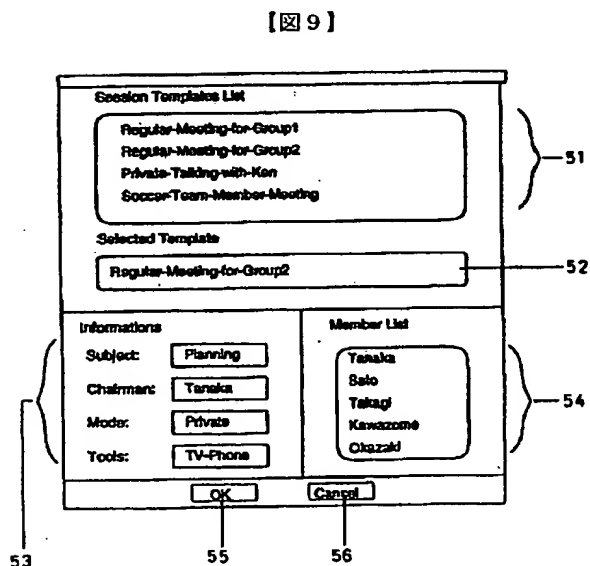
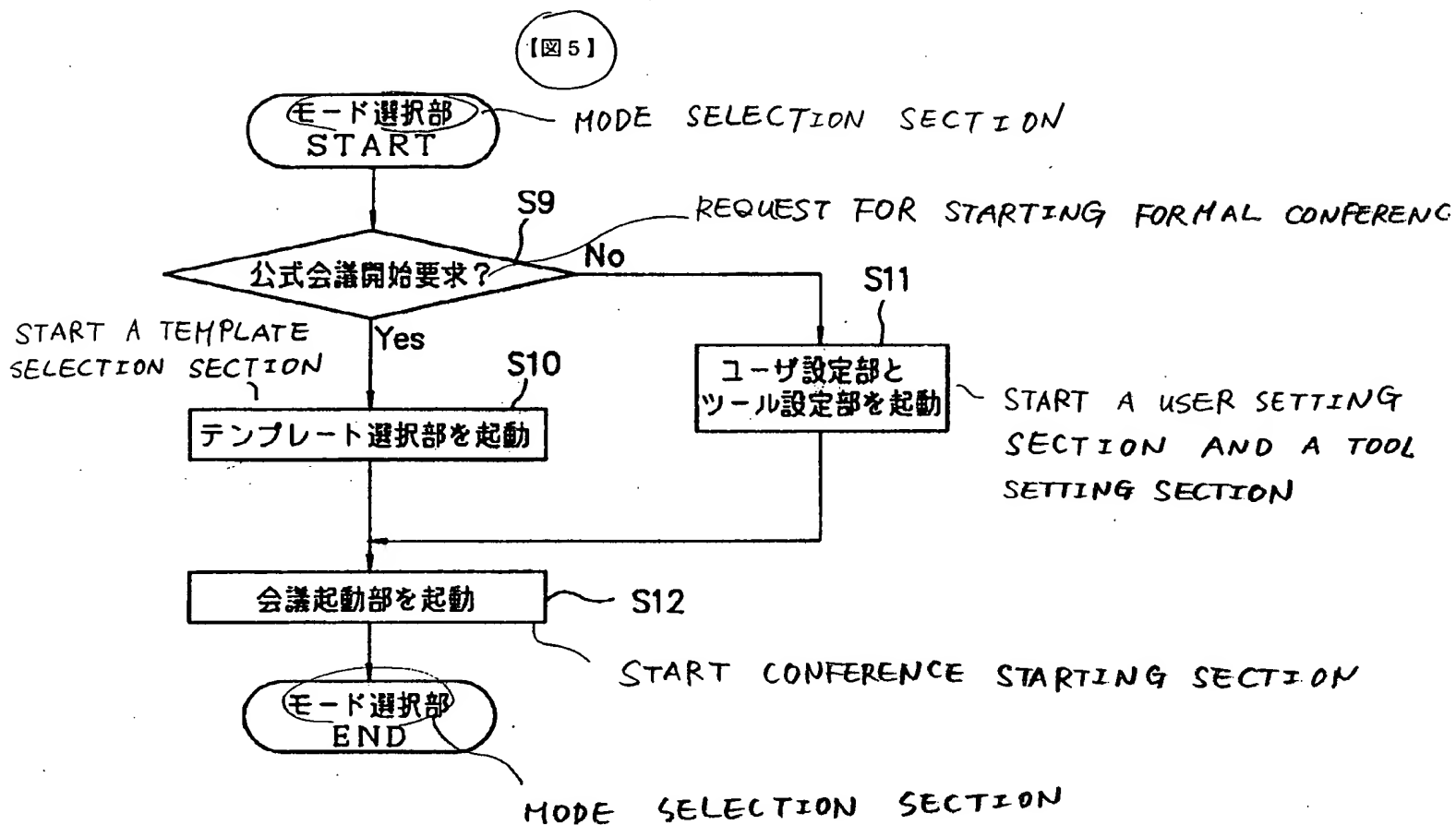
[0041] When the request from the user is the start request for the formal conference (that is, when the Formal button 41 is pressed), the processing goes to step S10 where the template select section 3 is initiated. When the request from the user is the start request for the informal conference (that is, when the Informal button 42 is pressed), the processing goes to step

S11 where the user set section 5 and the tool set section 6 are initialized.

[0042]       The processing in step S10 corresponding to the start request for the formal conference and in step S11 corresponding to the start request for the informal request is to store, in the work memory 9 in Fig. 1, information (the session name, user list, tool list, topic, chairman, access mode and so on), which is required for operating the conference starting section 7 in step S12.

[0043]       Then, when the processing in step S10 or step 11 is finished, the conference starting section 7 is initiated in step S12. The conference starting section 7 reads information required for starting the electronic conference from the work memory 9. The conference starting section 7 then supplies the read information (the topic, chairman, list of tools to be used in the conference, participant list and so on) to all of participants of the electronic conference and requests all of the participants of the electronic conference to start the electronic conference. Through these steps, the electronic formal or informal conference is started.





**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**